

＜東医療センター移転計画＞

東医療センターは、1934年（昭和9年）より、現在の地荒川区において約85年間、大学附属病院として高度な医療を提供しながら地域医療にも貢献し、地域の皆さまとともに病院運営を行って参りました。

この間、建物の増改築や新築などを経て現在の東医療センターの形に至ります。敷地条件等については、敷地の約3分の2を東京電力などからの借地に頼り、また敷地内の1号館などの建物の老朽化が懸念となっていました。

さらに昨今求められる医療水準は、提供する医療内容の高度化だけでなく、病室や廊下などのハード面においても同様に求められるものは高度化する一方です。



これらの課題を解決するため、より良い高度な医療を提供するため代替地の検討を進めていたところ、足立区から病院誘致のお話しを受け、この度の移転計画に至り2021年度中の移転を目指しております。

学校法人東京女子医科大学の校舎等の耐震化率（令和3年8月1日 時点）

（分子）	265,593 m ²	=	96.17%
（分母）	276,168 m ²		

（分母）「実態調査」対象施設の延床面積合計

（分子）下記のa または b に該当する建物の延床面積の合計

a・・・新築年月日が1981年（昭和56年）6月1日以降の建物の延床面積の合計

b・・・新築年月日が1981年（昭和56年）5月31日以前の建物のうち、耐震診断を実施済で、耐震性能を有しているあるいは耐震補強済（令和3年8月1日現在、補強工事中含む）の建物

※「実態調査」・・・日本私立学校振興・共済事業団実施 私立学校校舎等実態調査をいう。

学校法人東京女子医科大学の耐震化完了計画について

2021年度中	100.0%	東医療センター移転完了に伴い耐震化率100%達成予定
---------	--------	----------------------------